

■日時 平成30年8月16日(木) ■天候 晴れ 清和学園高等学校 通信制 対 岡山県立岡山操山高等学校 通信制

■球場 江戸川区球場 第4試合 2回戦 ■試合時間 2時間10分 ■備考 中断2分

■審判 球審:田島 塁審:鈴木(礼) 竹本 清水

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9					計	安	失
岡山操山・通	東中国・岡山	0	0	0	1	0	0	2	0	0					3	5	4
清和学園・通	埼玉	0	0	3	0	0	0	2	0	×					5	7	2

岡山操山・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊		吉澤 響	4	0	0	0	遊失		二ゴ		投飛		遊失						
2	中	三	神戸 健亮	4	0	0	0	中飛		三ゴ				二ゴ	三振					
3	投		難波 龍斗	4	1	3	0	左安			遊安		中3		投ゴ					
4	捕		横田 榛輝	4	0	1	1	中飛			左2		遊ゴ		遊飛					
5	三		有馬 直人	4	0	0	0	三振			三振		三振		二ゴ					
		右	岡 遼太郎	0	0	0	0													
6	一		石原 慎一郎	3	0	0	0		遊ゴ		投ゴ			遊ゴ		四球				
7	左		大橋 海人	3	0	0	0		三振		三振			死球		三振				
8	右	中	古市 陸	4	1	1	0		三ゴ			遊ゴ		中安		三振				
9	二		安藤 崇汰	4	1	0	0			右飛		三振		投ゴ		右飛				
合計				34	3	5	1	残塁:6 併殺:0												
				備考																

■バッテリー

投手
難波 龍斗

捕手
横田 榛輝

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	8	36	7	7	3	2

清和学園・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	右	磯部 翔海	2	2	1	0	投ゴ		三横	四球			三安						
2	中		榎本 瑠輔	4	2	1	0	投ゴ		二ゴ	遊ゴ			左安						
3	投		鈴木 翔悟	4	0	1	0	一ゴ		左飛		二ゴ		二安						
4	遊		大日向 礼央	3	0	1	3		一失	右3		四球		一ゴ						
5	一		新井 翔太	4	0	0	0		三振	三振		遊ゴ		遊ゴ						
6	三		田端 優貴	4	0	0	0		右飛	遊ゴ			三振	三振						
7	捕		石川 拓哉	3	0	0	0		四球		三振		三ゴ		中飛					
8	左		石塚 拓海	4	0	2	0		三ゴ		右3		一安		三振					
9	右		興石 拓己	2	1	1	0			三安	捕邪									
		二	末 弘 かなみ	2	0	0	0						投ゴ		三振					
合計				32	5	7	3	残塁:7 併殺:0												
				備考																

■バッテリー

投手
鈴木 翔悟

捕手
石川 拓哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木 翔悟	9	36	5	9	2	1

■戦評

2回戦江戸川球場の第4試合は1回戦をコールドで制し勢いに乗る清和学園高校・通信制と3年連続12回目出場の東中国地区代表・岡山県立岡山操山高校・通信制の対戦となった。試合が動いたのは3回、清和学園は内野安打と犠打失策により無死一三塁とすると2番榎本の内野ゴロ(記録は捕手の走塁妨害)により1点を先制する。さらに4番大日方が2点適時二塁打を打ち追加点を奪う。対する岡山操山は4回先頭の3番難波が内野安打で出塁するとすかさず二盗を決め4番横田の二塁打により生還し1点を返す。先発の両チーム主戦投手が走者を出しながらも得点を与えぬ粘り強い投球で3-1のまま試合は終盤へ。7回岡山操山は二死二三塁から敵失により二者が生還し同点に追いつく。するとその裏清和学園は先頭の1番磯部が内野安打で出塁すると2番榎本の安打で相手の守備が乱れる間に磯部が一気に本塁を陥れ1点を勝ち越すと内野ゴロの間にもう1点追加する。両チーム主戦の粘投が光った試合はこのまま清和学園が5-3で逃げ切り、ベスト8に進出した。一方敗れた岡山操山の主戦難波は打撃でもチーム5安打中3安打を記録するなど投打にわたる活躍を見せたが、無念の敗戦となった。